

# 心の窓



校訓：かしこく やさしく あかるく つよく

令和3年10月8日（金）

南関町立南関第四小学校 学校だより

No.23

文責：松永 尚子

## 前期終了し、後期が始まります。 終業式

コロナ対策をしながら始まった令和3年度でしたが、半年を過ぎました。今週で前期が終了します。今日は、終業式を行いました。その中で、私から、4月新入生15名を迎えて83名のみんなでこれまでがんばったこと、成長したことなどを、写真を用いて振り返ってお話をしました。その後、四小のめざす子どもの姿「気持ちいいあいさつ」「よく聴き、よく話す」「まわりを美しく」に向けて、一人一人がしっかり考えて行動して行ってほしいと話しました。

今日は、通知表「あゆみ」をお渡ししています。通知表は、子どもたちの学習・生活の様子を、本校の教育目標に照らしてお知らせしています。できているところや伸びているところは褒め、努力が必要なところは支援をお願いいたします。また、保護者のみなさまには、前期の様々な学校行事や教育活動へのご理解、ご支援・ご協力ありがとうございました。さらに、コロナ対策を含めた子どもたちの健康管理もお世話になりました。

後期は、修学旅行や見学旅行、集団宿泊、マラソン大会、学力調査など学習、運動面ともに大きな行事が目白押しです。いつも子どもたちの力が100%発揮できるように指導・支援していきます。後期も、どうぞよろしく願いいたします。

## 5年生、稲刈りをしました。

10月4日（月）に5年生は稲刈りをしました。このところの晴天続きで、寺嶋様の田んぼに植えさせてもらった稲は、順調に大きくなり、黄金色になっていました。稲刈りは、まずは鎌を使って手で刈りました。その後、天日干しのための稲架（はさ）を作り、そこにコンバインも用いて刈った稲束を掛けていきました。5年生のみんなは協力して、手際よく稲を束ねたり掛けたりしていました。

昔は、稲刈りの時期になると「農休み」で学校が休みになり、みんなで稲刈りをしていたなあと思い出しました。寺嶋様、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



## 10月：四小読書月間（図書室より）

先週号で、四小集会の図書委員会の発表をお伝えしましたが、その中にもあったように、10月は四小読書月間です。図書委員さんが、「読書郵便（おすすめの本をはがきのようなものにかいて送るもの）」や「赤星文庫シールコンテスト」などをして、読書をすすめていきます。先週号でお知らせした赤星文庫について、再度お伝えします。南関町出身の赤星ふし美様が、子どもたちの読書のためと南関町に寄付されたものです。四小の図書室にも上の写真のように、本を購入してあります。赤星様は、自身のお兄様を戦争で亡くされたそうです。そのお兄様が、伝え残したいこととして伝えられた教えも掲示しています。その内容を紹介します。



### 伝え残したい話 兄からの教え

- － 人の悪口を言ってはならない  
同時に三人を傷つける。言った人、聞いた人、言われた人
- － 勉強なさい  
学歴と教養は違う 多くの本を読むこと
- － 貧乏は決して恥ではない  
金を持ったからと高慢な心をもってはならない
- － 弱い人には優しく
- － 嘘は絶対ついてはならない  
発言したことには責任をもつこと
- － 人が見ていないからと悪いことは絶対してはいけない
- － 人から受けた恩は一生忘れてはならない  
また、いじわるされた人に復讐する心をもってはならない
- － 困った問題がおきたら充分時間をかけて分析し解決すること
- － 知人関係で誤解が生じたら納得するまで話し合い、お互いに許し合うことを学びなさい
- － 常に目標を持ちなさい  
南方に赴く折り、最後の便りに、君の良心に訴え、悪いこと、恥じるようなことは絶対に君はしないと信じている。どこにしようと、いつも見守っている。強く正しく生きなさい。最後に、辛いだろうが、両親に孝行を頼むとありました。

上の「南方」とは、戦地のことです。この教えを残して、戦争にいかねばならなかったお兄様は、どんなに辛かったことでしょう。この中には、四小でも大切にしていることが、たくさんあります。ご家庭でも話し合ってみてください。